



議会だより

たちはな



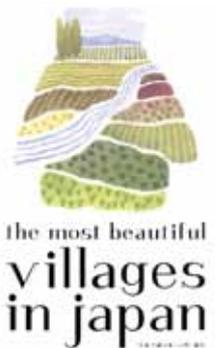
第73号

令和2年7月臨時会（第5回）
令和2年9月定例会（第6回）



もくじ

- 9月定例会・7月臨時会のあらまし・・・P2～P5
- 議会報告会・・・・・・・・・・・・・・・・P5～P7
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・P8～P14
- 議決結果・・・・・・・・・・・・・・・・P15
- シリーズ「健康づくり推進」・・・・・・P16



9月
定例会

第6回

議案の概要

決算認定9件、人事4件、条例4件、承認(専決補正予算)1件、その他契約案件など3件と発議1件を審査し、いずれも提案のとおり認定しました。

令和2年9月2日~18日

令和2年度 一般会計補正予算

9月補正

3億3,611万4千円

予算総額

81億8,843万2千円

主な事業

- 高原町光ファイバ整備事業補助金・・・・・・・・・・1億4,000万円
- 表面温度検知システム設置事業・・・・・・・・・・175万6千円
- 介護サービス事業所のガウンや防護服などの整備費・・・・・・・・272万1千円
- 国立公園管理事業・・・・・・・・・・4,209万2千円
- 農地災害復旧工事費…449万9千円、農業用施設災害復旧工事費…2,699万9千円

令和元年度 一般会計決算

歳入総額

78億9,825万円

歳出総額

78億402万円を認定

令和元年度決算の歳入総額は78億9,825万316円、前年度と比較して17億659万81円、27.6%の増、歳出総額は78億401万9,546円、前年度と比較して、17億1,072万4,011円、28.1%の増となっています。

翌年度へ繰り越すべき財源は、571万6千円で、実質収支額は、8,851万4千円となり、このうち5千万円を財政調整基金に積み立てます。

【公営企業会計決算】

(単位:円)

		水道事業	工業用水道事業	病院事業
収益的収支	収入	204,656,653	—	1,021,480,805
	支出	187,094,354	—	916,862,034
資本的収支	収入	27,026,415	2,048,502	24,802,655
	支出	103,901,071	2,048,502	63,053,221

【特別会計決算】

(単位:円)

区分		歳入	歳出	差引差額
高原町住宅新築資金等貸付事業		869,707	869,228	479
高原町農業集落排水事業		29,440,876	25,496,717	3,944,159
高原町国民健康保険		1,444,476,383	1,435,872,375	8,604,008
高原町介護保険事業	保険事業勘定	1,319,571,484	1,280,664,600	38,906,884
	介護サービス事業勘定	6,328,177	4,642,726	1,685,451
高原町後期高齢者医療		316,442,120	309,839,650	6,602,470

令和元年度決算の主な内容（主な事業のみ掲載）

○企画費

町制施行85周年記念事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,175,354円
 ふるさと納税特産品贈呈事業・・・・・・・・・・・・・・・・194,549,000円

○ふるさと振興事業費

高原町和牛ブランド確立対策事業（繁殖素牛を導入する際に補助を行う）
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9,200,000円
 児童公園遊具整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・4,958,000円
 学校給食補助事業（学校給食費を半額補助）・・・・・・・・11,653,604円

○児童運営費

子育てのための施設等利用給付事業・・・・・・・・・・4,744,130円

○農業振興費

中山間地域等直接支払交付金事業・・・・・・・・・・48,586,752円

○農地費

県営畑地帯総合整備事業 後川内1期地区の事業負担金（受益面積55ha）
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19,924,952円

○農道整備費

農地耕作条件改善事業（湯之元地区 未舗装農道の整備）・・・・43,400,000円

○観光費

御池皇子港園地進入路整備事業道路改良工事・・・・・・・・20,600,000円

○道路維持費

道路補修事業 本町4号線他1路線 L=452m・・・・・・・・16,284,000円

○道路新設改良費

町道改良事業 蒲牟田前田線 L=205m・・・・・・・・12,034,000円

○住宅建設費

定住促進住宅整備事業 広原地区に町営住宅2戸の建設・・・・41,714,410円

○公民館費

並木地区公民館新築工事事業・・・・・・・・・・・・・・・・49,098,951円

現 地 調 査（令和2年9月8日）



▲児童公園遊具整備事業



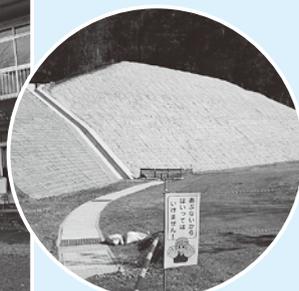
▲県営畑地帯総合整備事業 後川内1期地区



▲農地耕作条件改善事業 湯之元地区



▲御池皇子港園地進入路整備事業道路改良工事



▲並木地区公民館新築工事事業

委員の任命・選任

★教育委員会の委員の任命について同意しました。

・後藤 良文さん ・温谷 一浩さん

★固定資産評価審査委員会の委員の選任について同意しました。

・星山 健二さん

★公平委員会の委員の選任について同意しました。

・涌水 香さん

よろしくお願ひします



「高原町議会災害対応マニュアル(業務継続計画)(案)」に関する意見(パブリックコメント)の募集について

○公表資料の閲覧方法

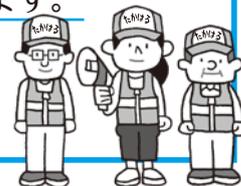
ホームページのほか、議会事務局や以下の窓口で印刷物でも御覧いただくことができます。

・町民福祉課 ・ほほえみ館 ・中央公民館

※ 議会事務局に御連絡いただければ、郵送での対応もいたします。

○意見の募集期間

令和2年11月2日(月)～令和2年12月1日(火)(必着)



新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大により、国民生活への不安が続いている中、地方税・地方交付税等の一般財源の確保・充実が必要不可欠です。こうしたことから、議会では、国に対し、地方財源の確保の取組を行うよう下記のとおり意見書を提出しました。

1. 地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。
2. 地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。
3. 令和2年度の地方税収が大幅に減少することが予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。
4. 財源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性等を厳格に判断すること。
5. 特に、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは、家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、本来国庫補助金等により対応すべきものであり、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

*承認(専決補正予算)1件、補正予算1件が提案され
審査しました。

7月補正 2,435万2千円
予算総額 78億4,531万6千円

主な事業

☆新型コロナウイルス感染症対策事業

- 繁殖農家導入支援緊急対策事業補助金・・・200万円
・肉用牛繁殖経営の振興を図るため、和牛繁殖本牛の導入・保留を支援。
- 肥育牛出荷対策事業補助金・・・706万円
・国内外の需要減少により枝肉価格が低下し、経営が悪化している肥育牛農家を支援。
- たかはる宿泊施設利用助成事業補助金・・・410万円
・観光客の誘致促進と地域経済の活性化を図るために町内の宿泊施設利用者に対して助成。

☆農林水産施設災害復旧事業

- 農地・農業用施設災害復旧委託料・・・249万9千円
・梅雨前線豪雨による測量委託費。

令和元年度

議会報告会における
要望事項に対する町当局からの回答



～町民の皆様からいただいたご要望を町当局に報告しました～

① 病院事業について

町立病院の事業は、平成27年度からこれまで約8億円を補填して運営している。「高原町立病院元気化プロジェクト」などあらゆる策を講じながら、緊張感を持って総力で取り組んでいく。



② 御池トイレの上部の枝を伐採してほしい

改修工事の計画を進めている。

③ 御池の荒れた食堂について

現在、民間業者の所有となっているが、今回の進入路整備により再整備に期待している。

④ 皇子原公園のテニスコートが危険で使えない

一般的に使用されているハードコートを採用している。安全な利用を心がけていただき、健康増進に努めていただきたい。



⑤ 視察研修で来庁された方に対しての食事や宿泊の案内の徹底を

現在、本町での宿泊や食事の案内を行っている。

⑥ 祭りや地元の東雲太鼓の応援をしてほしい

地域の伝統行事については、財源の限りがあるが対応していく。



⑦ 道路の白線が消えていて危ない場所がある

国道・県道は土木事務所に要望を行い、町道に関しては引き続き実施していく。

⑧ 街灯に木々が生い茂っているが、何とかしてほしい

基本的に所有者が伐採することになっているが、緊急を要する場合のみ対応していく。

⑨ 町道、農道脇のパーキングの開放をしてほしい

退避場所に関してはごみの不法投棄などがみられるため仕切りを設置した経緯があるが、住民の要望を受け、安全に問題がない場所を開放する。

⑩ 蒲牟田線の道路舗装を早く進めてほしい

財政状況を踏まえ、早期完成できるよう取り組む。

⑪ 個人所有の枝木伐採について

基本的に所有者が伐採することになっているが、緊急を要する場合のみ対応していく。

⑫ 災害時の農道等の整備を町民にもさせてほしい

農道や用排水路の維持管理については、地域管理を原則としているが、このような申し出は大変ありがたい。通常の維持管理を超える災害については、財源を利用し迅速な復旧に努める。

⑬ 予算などに関する、外部の評価システムを作してほしい

令和2年度から実施予定。

⑭ 雇用の場を確保してほしい

あらゆる手段を講じながら、県や関係機関と連携し、雇用の場の確保を図っていく。

⑮ 公営住宅の所得制限の拡大について

公営住宅法の範囲内で最大限の配慮を行っている。

⑯ ふるさと納税について

今後も、あらゆる策を講じながら、ふるさと納税の寄付額を増やす対策に取り組んでいく。



⑰ 畑かん事業について

水を使った農業が可能となった地域も増え、あらゆる作物が栽培されている。今後も、畑かん用水による収量増、品質向上、定時・定量出荷により、所得向上を図られるよう生産者、関係機関が一体となり検討していく。

⑱ 中山間交付金の継続の要望について

地域農業の振興に対して要望の高い事業であるので、国・県の動向を注視しながら、事業実施にあたっていく。

⑲ 新規就農と園芸農家の後継者育成について

町内にも新規就農者が増えており頼もしい限りである。今後も国・県の各種事業を活用し、新規就農者、農業後継者の確保に努めていく。

⑳ 学校の統廃合の進め方について

平成21年2月の答申によると小学校1校、中学校1校が適切であるとされている。10年以上経過した今、「新しい学校の在り方」の検討を進めていく。

㉑ 役場庁舎の建て替えについて

役場庁舎は耐震基準を満たしていない。耐震補強工事では莫大な費用を要する計算となり、公

共施設検討委員会が作成する「建て替えの順番及び建設候補地の（案）」をお示しし、町民のご理解を頂きながら順次進めていく。

② 景観条例の周知について

景観条例の制定に伴い、令和元年10月区長会にて「高原町景観条例」制定の案内文書を町民の皆様へ互人班回覧にて周知を行った。今後、ホームページ等での掲載を行い、わかりやすい案内を行っていく。

③ 避難所、防災無線、ハザードマップについて

避難所は現在、台風や大雨時に「ほほえみ館」を中心に8カ所開放しており、避難所まで行く手段がない方や厳しい方は役場に連絡いただければ対応する。災害の規模によってはその他の集落施設の開放も区長判断で可能である。防災行政無線に関しては、様々な意見を伺っており、聞き取りやすい放送に努める。水害に関しては、町内に浸水想定区域がないため、土砂災害（土石流）のハザードマップを活用している。



④ 職員の地区担当制について

区長会と連携し、職員が積極的に地域に関われる体制づくりを検討していく。

⑤ 特定健診受診率が低い。健康意識を上げるような指導をしてほしい

ほほえみ館の各種教室や、各地区の総会、営農組合等の集会等、百歳体操等の場に、保健師・管理栄養士が出向き、健康に関する講話を実施し啓蒙活動を行っている。

⑥ 町内でスポーツをする人が減っている。ポイント制を導入した運動普及の取組みをしたらどうか

9月1日より「歩いてもらおう！たかはる健幸ポイント事業」が開始された。ぜひ多くの町民の参加をお願いしたい。

⑦ 生活習慣病を治すために食育の指導も入れてほしい

現在、ほほえみ館の管理栄養士を中心に「栄養教室」と「親と子の料理教室」を開催している。引き続き取り組んでいく。

⑧ 鳥獣対策について

現在、有害鳥獣の駆除は29名体制で行っている。狩猟免許取得者の高齢化により駆除できる者が減少していることから、県の補助金を活用し、新規狩猟免許取得希望者に対し、経費（免許取得費等含む）の一部負担軽減する取り組みも行っている。

⑨ 軽トラ市について

新燃岳噴火災害による産業復興と商店街の活性化、賑わい創出を図るべく、毎月第3日曜日に開催している。（※現在はコロナの影響で中止）



⑩ 皇子原・御池の観光について

現在、皇子原公園・御池キャンプ場は、たかはる温泉郷旅館組合へ指定管理業務を委託している。

⑪ 農地について

農業従事者の高齢化、担い手減少により、耕作放棄地が増えている。農業委員、農地パトロール、中山間直接支払い制度などあらゆる手段を講じ対応しながら、耕作放棄地解消に取り組んでいく。

⑫ 上麓・下麓区公民館の建設のお願い

公民館整備に必要な土地の確保や財源確保等を含め検討していく。



一般質問

町の考えを問う

小さな声にも対応出来る街づくりを



ぬくみず 温水
よしあき 宜昭議員

○有害鳥獣被害防止対策事業

問 町内の被害状況は。

答 後川内から鹿見山の範囲で被害が多い。町内被害4, 124千円。

問 防止対策実績は。

答 シカ・イノシシ714頭を捕獲、ワイヤーメッシュ柵等、31, 530m、電気柵12, 150m設置。

問 防止対策予算が減少

しているが。

答 県補助金減によるもので、不足分は補正予算で対応する。



▲設置されたワイヤーメッシュ柵

○中山間地域等直接支払制度

問 新5期制度への参加戸数は。

答 1, 212戸の参加見込みで減少傾向にある。

問 新5期制度で見直されたのは。

答 遡及返還対象地が協定農用地全体から当該農用地のみとなり、個人配布金が農業所得確認になった。

問 6〜10年後の農地維持に向けた取り組みは。

答 担い手への農地集約、新規就農者への支援、集落営農組合活動への支援。

○地域防災対策

問 屋外拡声器が聞こえづらいとの声があるが、その対応は。

答 そのような声は何っている。聞こえづらい地域への対応は、防災行政

無線、消防団の広報、エリアメール等で対応していく。

問 小林市では各戸へ防災ラジオを配布しているが。

答 今後も複数の手段を用い、迅速で正確な情報伝達に努める。



▲小林市が配布した防災ラジオ

○新型コロナウイルス感染症対策

問 特別定額給付金の状況は。

答 給付者9, 212名、辞退者3名、未申請者5名。

問 休業要請協力事業者数は。

答 23事業者の協力をいただいた。

問 プレミアム商品券や

食事券の利用状況は。
答 商品券2, 870人、食事券983人の利用。



問 高収益作物次期作交付金は。

答 66戸の農家、約4, 989万5千円の申請。

○肥育農家支援は。

答 肥育牛出荷対策事業1万円交付に取り組んでいる。

問 高齢者対策は。

答 コロナ対策、熱中症対策として訪問を増やし、見守りを続ける。

問 コロナの長期化が予想されるが。

答 国や県へ財政的支援要請や情報共有連携強化を図って行く。



早々と表明すべきでは！



まえはら じゅんいち
前原 淳一議員

○次期町長選挙

問 任期は残り1年となった。早々と表明すべきと思うが。

答 これまで職員と一丸となつて諸課題に取り組んできたが、公約の取り組み段階のものや、これから取り組まなければならない問題など、色々見えてきた。私が掲げる「町民誰もが明るく住みやすい町づくり」はまだ途中段階である。先人が作ってきた町を守り、一人一

人が町を愛する心を育むことを引き継ぎ、素晴らしい町としていくために、再度町政を担わせて頂きたい。

○防災無線

問 花堂地区では試験放送以来利用されていない。

答 国の施策により、令和4年までにアナログ波は使用できなくなるため、全てデジタル化へ移行したが、花堂地区については新たに、花堂村おこしセンターに屋外拡声器を設置したためその役割を終えた。今後は、撤去する方向で検討していく。

答 下川原橋に同様なものがあり、同じく撤去の方向で検討している。



▲花堂村おこしセンター屋外拡声器

○乗り合いタクシー

問 湯之元・蒲牟田線の現在のルートは、川原口（御池の湯）宮之宇都（湯之元温泉）となっているが、御池の湯から湯之元集落センター経由に変更できないか。

答 今後、ルート変更について地元と協議をしていく。変更の手続きについては、各関係機関との協議を経てから、公共交

通会議に諮るため、早くとも4月以降となる予定だ。



▲宮交タクシー(株)が運行する乗合タクシー





対象外の新生児に町独自で5万円支給



なかむら のぼる
中村 昇議員

て ○新型コロナウイルス対策について

経済対策

問 国の第2次補正予算成立を受けて臨時交付金では、どのような事業を検討されるか。

答 新規事業で4月28日以降の新生児に一人につき5万円を支給する。

問 雇用調整助成金が9月30日までで、延長が必要では。

答 国において年末まで続ける案を調整している。



問 持続化給付金の申請サポート会場が縮小された。一人も取り残さないように改善が必要では。

答 申請に来られた方の入力補助や代理入力など、できる限りフォローをしている。

感染症対策

問 感染拡大する中、PCR検査センター設置が必要では。

問 持続化給付金の申請サポート会場が縮小された。一人も取り残さないように改善が必要では。

答 申請に来られた方の入力補助や代理入力など、できる限りフォローをしている。

問 感染拡大する中、PCR検査センター設置が必要では。

答 県、医師会等と連携しながら、検査体制の強化に協力していきたい。

問 避難所においては“エコノミー症候群”を引き起こすことから段ボールベッドの備蓄が必要では。

答 簡易ベッドを10台備えている。今後も備蓄を進める。



▲段ボールベッド

問 3密を避けるために指定避難所以外も開設が必要では。

答 複数の避難所を開設し、十分な距離を確保していく。

問 ほぼえみ館の福祉避難所としてのスペースの確保は。

答 高齢者には和室を、乳幼児には会議室を考え

○学校教育について

問 子どもたちの学びと感染症防止の点で20人程度の学級の実現を国に働きかけを。

答 40人学級では3密を避けることが困難、町では県教育長に会い、30人学級への要望をした。

問 福祉避難所の周知が必要では。

答 周知に努め、個別計画を作る。

○熱中症対策について

問 熱中症の疑いで緊急搬送される人が、町内で7月4件、8月5件など急増している。電話による声掛けや状況把握が必要では。

答 町内での実施は予定してない。

問 学校給食の牛肉消費拡大を。

答 今後も消費拡大に取り組む。

問 配食サービスの見守りや民生委員の訪問など安否確認を行っている。

答 配食サービスの見守りや民生委員の訪問など安否確認を行っている。

コロナ対策について



すえなが みつる
末永 充議員

ここが聞きたい 問&答

○ウイズコロナ時代
問 医療福祉の連携がなされているか。

答 県と連携して施設での感染対策のための自主点検実施の依頼と確認、感染症対策を再徹底し、関係機関との連携確認をおこなう。

問 高原町の高齢者施設でクラスターが発生したと想定した場合に、感染発生時のシミュレーションはなされているのか。
答 県の方で、応援職員

派遣の仕組みづくりを検討しており、県と連携して支援をおこなう。

問 感染発生時の対応について、防護服や手袋等ほどの程度確保されているか。

答 防護服1,620枚、医療用手袋63,000枚、フェイスシールド700枚の資材整備をおこなない、手指消毒液については町内事業所に配布する。備蓄については、



▲介護施設に配布された消毒液

高原町地域包括支援センター分として確保をおこなう。

○農業用廃プラスチックの処理

問 農業用廃プラスチックの処理に係る助成について。

答 町と宮崎県農業用廃プラスチック適正処理対策推進協議会の助成によ



▲高原町出口農業用廃プラ集積所

り、10月から12月の期間限定で、廃ビニール処理については、処理量1kg当たり単価6・6円のうち2円、廃ポリフィルムについては、25・3円のうち4円を助成している。

問 農業分野から排出される産業廃棄物の処理負担について、年間を通して助成できないか。

答 搬出促進を含め負担

軽減のため助成方法について、改めて検討する。

○花きの活用拡大支援事業

問 花きの活用を拡大する取組を支援していく考えは。

答 県内産花きの需要喚起並びにPRを図る。



○農業者における持続化給付金

問 収穫期が限られているために多くの個人農業者の方が申請されていない。どう対応していくのか。

答 申請に伴う相談、具体的な手続き等については、農協等の関係機関と連携を図り円滑な申請となるよう対応する。



信頼回復に向けての取組強化を！



ふくざわ たくじ 福澤 卓志議員

○町長の政治姿勢について

問 職員不祥事が横行しているが、信頼回復に向けての考えは。

答 本件に関し、大変遺憾でありご迷惑をおかけして申し訳ない。今後は、コンプライアンス研修なども行い、綱紀粛正に努め、信頼回復に全力で取り組んでいく。

問 3年間の取り組みへの評価を。

答 高原町の発展と町民

の幸せ実現のために粉骨碎身努力してきた。また、選挙公約で掲げた10の項目も積極的に取り組んできた。達成出来たものと、計画途中のものもあり、今後も積極的に取り組んでいく。

問 ウイズコロナ、アフターコロナ対策は。

答 感染症対策と経済対策中心に取り組んできた。引き続き状況を見極め、強靱且つ自律的な地域社会の整備に向けた取り組みも進めていく。

問 残り任期期間（1年間）への抱負は。

答 コロナ禍の中、町民の命と暮らしを守るため、

残り1年間誠心誠意努力していく。

○消防団について

問 コロナ禍の7月豪雨に伴う詰所待機は妥当か。

答 感染症拡大防止を徹底して頂き、今後も気象条件や災害発生の危険性等を鑑み「詰所待機」又は「自宅待機」をお願いしていく。

問 町外に住む団員は。

答 小林市8人、えびの市1人、都城市5人、宮崎市1人の15名。

問 定年があるか。

答 H19までは年齢制限の上限があったが、撤廃している。

問 各部団員数の見直しが必要では。

答 条例定数170名に対し、現在164名。（男性160名・女性4名）団員確保が困難になってきており、定数を検討する段階にきている。

○健幸ウォーキングについて

問 「歩く」を楽しむには仕掛けが必要では。

答 健幸ポイント事業を開始した。新型コロナウイルスの影響による運動不足を解消するという目的とポイントを集めて抽選で商品券がもらえるなど、楽しみながら参加頂きたい。ゴミを拾いながら参加頂ける方も募集している。

smart wellness city
「歩く」ことで、生活体力を維持して、健康増進し、生活習慣病を予防します！
2020年9月1日から受付を開始します！
歩いてもらう！ たかはる健幸ポイント事業
【実施期間】受付日～11月30日まで
対象者は、20歳以上の町民の方になります
毎日、万歩計・活動量計やスマホをもって出かけたり、お散歩したり歩いてみましょう！
楽しく歩きながら健康習慣を身につけましょう！
参加料無料：参加者募集
STEP 1 健幸ポイント事業の申込みをして、ポイントカードをもらいましょう！（代理でも可）
STEP 2 さあ、歩いて目標を達成しましょう！ 達成者には以下の特典があります！
A賞 達成者 9月・10月・11月のいずれかの月に 90,000歩以上（目安：1日3,000歩）達成した方全員に500円の商品券をプレゼントします！
B賞 100名に 9月1日～11月30日の間に 合計300,000歩以上（目安：1日3,300歩）達成した方の中から抽選で1,000円の商品券をプレゼントします！
ダブルポイント さらに、健（検）診受診や地域活動に参加してダブルチャンスに挑戦しましょう！
STEP2のA賞またはB賞を達成した方で、裏面の設定事項で合計10ポイント以上貯まった方の中から抽選で、000円の商品券を100名様（※）にプレゼントします！
（※抽選の方で、A賞またはB賞を達成し、税金・住民税、人形・ドッグを愛護した方には、抽選ではなく、もちろんプレゼントします。）
詳細については、裏面をご覧ください
お申込み 高原町役場 総合政策課企画画策係
お問合せ TEL:0984-42-2115/FAX:0984-42-4623

みんながスポーツ
1130
いち・いち・さん・まる 県民運動
1週間に1回以上、30分以上は運動・スポーツをしよう



▲たかはる健幸ポイント事業のご案内



大胆な事業見直しを！



じん 陣 けいすけ 圭介 議員

○町長の政治姿勢

問 町長が考える副町長の職責について、現状と評価は。

答 職員の担任する事務の指導監督をお願いし、その他のものについても、お願いするものについては適切に遂行してもらっているという認識である。

問 広原の定住用賃貸住宅の全戸整備は優先度が低いと考える。事業の継続実施を一旦見合わせて

は。

答 2棟の申込状況を見ると、応募者が多かったとは言えない。今後の入居希望者の動向も見なければならぬ。今年度2棟の建設をすすめ、応募状況、財源を考慮した上では、中断という選択肢もある。



▶広原定住住宅予定地

問 強い政治判断で、事業見直しを益々すすめて

いただきたいと考えるが。

答 選挙には一切こだわらざるつもりはない。逆に、厳しい財政状況を勘案し、町民の理解を得ながら進めていく。



○福祉行政

問 独居者の安否確認に

関して本町の対応は。

答 町、社協の事業のほか、区独自で地域住民による見守り活動の例もある。

る。より一層の協力と強化をお願いし、先進自治体の取り組み等研究していく。

問 福祉係の業務につき、事務処理期間が長いとの声がある。対応は。

答 急を要する業務が多数あり、特に障害者等に関する事務に関しては、速やかな事務処理が求められるところ。係内での情報共有を図り、一丸となり業務遂行に努めていく。

○不法投棄対策

問 不法投棄対策に関し、新たな対策は。

答 9月から監視カメラの導入を予定している。また、ウォーキングの際のごみ拾いにポイントを

付与する事業も実施している。不法投棄物の回収や不法投棄防止の啓発に更に努める。



▲農免道路の看板

○教育行政

問 児童生徒に対する教育・学習指導に関し、現状把握、指導の手法は。

答 各種検査、報告等の間接的把握、学校訪問等の直接的な把握等をおこなって、校長会等で指導助言を行うなど、指導力向上につなげるよう取り組んでいく。



新型コロナウイルス感染症対策について



まつもと しげはる
松元 茂春議員

○感染症対策

問 町民の安心安全な生活を守るための感染症対策についての取組みは。

答 町内での感染者は確認されていない。今後も、国・県が示している「新しい生活様式」を参考に、公共施設にエアコンや送風機を設置、非接触型の検温器等設置するなど、集団感染のリスク低減を図る。

問 地域経済の再生への取組は。

答 国や県の緊急対策貸付けの利子補給、消費拡大のための、お持ち帰りグルメGOGOキャンペーンや牛肉消費拡大事業など実施してきた。コロナの終息を見据えて、独自の観光支援策等も打ち出していく。農家や飲食店、小規模事業者を守り、雇用を維持するため、今後も出来る限りの施策を講じていく。

○特別定額給付金事業について

問 マイナンバーの登録者数とオンライン申請は。

答 マイナンバー登録者数は1,305名で、取得率約14%、オンライン申請は、申請世帯が46世帯で、121名に給付した。

問 マイナンバー取得者対策は。

答 役場窓口での周知強化と共に、広報紙等での周知についても引き続き行いながら登録者数の増加に努める。



○環境保全について

問 不法投棄防止対策は。

答 不法投棄禁止の看板設置や監視カメラの設置等を考えていく。

問 不法投棄パトロールの強化が必要では。

答 過去の実績等を考慮し検討していく。





いつまでも たのしく みんなで健康に



健康づくり推進!

この人紹介

体調不良を抱えて通ってくる患者のために!

東洋伝承医学研究所・ハタイ自然療法センター代表 幸田 麻紀さん



※自然療法に携わって20年、滞在型アーユルヴェーダ施設を作りたい、と2011年に宮崎に。その後高原に移住、「有言実行の人」とも言われる。2018年秋にアーユルヴェーダを取り入れた、ハタイ自然療法センターと宿泊可能な「たかはるヒト×コト交流センター」を立ち上げる。(南狭野 旧老人福祉館)

※講師業の他、治療院を開設し、霧島山麓で取れる薬草で煎じ茶や薬用オイルを作成し、使用効果の研究中である。

※医療従事者という自覚の下、患者に対する誠実さと愛情と責任感を持って、常に最善を尽くすため、自らの体調管理に細心の注意を

払うという。
 今後は、少しずつ必要としてくれる人たちが集まってきてくれるように、コツコツとやっていきたい。そして、恩師幡井勉先生の後を継いで「たかはる伝承医学研究所」として、東南アジア諸国などの伝統医療も学びを深めていきたいとしている。



▲施術室



▲インドチキンカレー

おんあんぼう
 ※アーユルヴェーダオイルの湿布や温電法(温湿布) 関節治療・腰痛治療【要予約】

※アーユルヴェーダとは「命の科学」「生命の知識」といわれる、インド、スリランカの伝統医学であり、予防医学・治療医学にとどまらず、高度な哲学として注目される。
 ※アーユルヴェーダは人生を快適に生きるための生き方の知恵。

たかはるヒト×コト交流センター 電話42-2400

◇暑い夏が終わり、最近朝夕はめっきり冷え込むようになってきました。農家の皆さんは、稲刈りも終わり一息ついておられることと思います。◇今年にはコロナの影響で各行事を含め、全てのイベントが中止あるいは延期となり、飲食・観光業のみならず農業分野にも大きな影響が出ました。今後1日も早い景気の回復が望まれるところです。◇さて、最近の町行政の問題点として、いくつかあげられますが、事業計画の中の検討のあり方など今後の課題だと思えます。目標を立てて実行されると思いますが、後の行動が伴わない気がしています。我々議会もしっかりチェックしていかなければなりません。◇町民の皆さんも関心を持って見守って頂けたらと思います。

編集後記

【訂正のお詫び】
 ・前号の陣議員の一般質問の記事で(問)コロナ不況からの出口戦力としてとあるのは、出口**戦略**の誤りでした。
 ・新型コロナウイルス感染症対策や主な補正予算内容の記事で、★高原町プレミアム付きテイクアウト・食事券発行事業補助金の金額4,470円は、**4,470千円**の誤りでした。
 ※お詫びし、訂正いたします。

郵便はがき

8 8 9 4 4 9 0



料金受取人払郵便
 差出有効期間
 令和3年9月
 30日まで
 (切手不要)

(受取人)
 高原町大字西麓899番地
高原町役場 議会事務局
 議会だより編集委員会 行

ふりがな _____

ご氏名 _____

※匿名を希望される場合は○をご記入ください。→ 匿名希望

(〒 _____)

ご住所 _____

お電話 _____